

美ら島 沖縄

ちゅらしまおきなわ

2024

12

vol.591

無料

特集
県職員の給与の状況

読者
プレゼント

抽選で計10名様に!

詳細はP15をCHECK



第12回沖縄平和賞授賞式
「認定特定非営利活動法人ヒューマンライツ・ナウ」が受賞

沖縄平和賞支援募金 振込先口座

名義人(受取人) 沖縄平和賞委員会 会長 玉城デニー		
琉球銀行県庁出張所	普通預金	155-866
沖縄銀行県庁出張所	普通預金	1255242
沖縄海邦銀行県庁内出張所	普通預金	0-063-488
沖縄県農業協同組合本店	普通貯金	0012172
ゆうちょ銀行	口座番号	01750-1-61696

歴代受賞者の紹介

- ① 中村哲を支援するベシヤワール会
- ② 特定非営利活動法人アムダ
- ③ 沖縄・ラオス国口唇口蓋裂患者支援センター
- ④ 特定非営利活動法人難民を助ける会
- ⑤ 特定非営利活動法人シェア=国際保健協力市民の会
- ⑥ 特定非営利活動法人シャプラニール=市民による海外協力の会
- ⑦ 特定非営利活動法人ジャパンハート
- ⑧ 特定非営利活動法人難民支援協会
- ⑨ 特定非営利活動法人日本国際ボランティアセンター
- ⑩ 特定非営利活動法人国際協力 NGO センター
- ⑪ 公益財団法人沖縄県女師・一高女ひめゆり平和祈念財団立ひめゆり平和祈念資料館



新倉理事長による受賞者挨拶

賞牌を受け取る伊藤副理事長

「平和を希求する「沖縄のこころ」を世界へ!」

「沖縄平和賞」を知っていますか?

「沖縄平和賞」とは?

「沖縄平和賞」は、平和を希求する「沖縄のこころ」を世界へ発信し、国際平和の創造に貢献することを目的として、平成13年に創設されました。

沖縄と地理的・歴史に関わりの深いアジア太平洋地域の平和の構築・維持に貢献する活動を行っている個人・団体を2年に1回表彰しており、今年で12回目を迎えました。

沖縄平和賞を通して、平和の構築・維持に貢献する活動を支援することにより、沖縄が、アジア太平洋地域の平和創造拠点となることを目指していきます。

ヒューマンライツ・ナウが 沖縄平和賞を受賞しました!

10月28日(月)に第12回「沖縄平和賞」授賞式が開催され、「認定特定非営利活動法人ヒューマンライツ・ナウ」が沖縄平和賞を受賞しました!

ヒューマンライツ・ナウは、日本を本拠とする国際人権NGOとして、アジアを中心とする広範な国・地域にわたり、紛争下の人権、女性に対する暴力、児童労働、過酷労働、人権活動家の保護、ビジネスと人権などのさま



沖縄平和賞
ホームページ

「おきなわSDGs アクションプラン」とは

沖縄らしいSDGsを推進していくための基本理念や優先課題(①~⑫)などに対応した具体的なアクション、モニタリングの指標などをまとめたものです。



←全文を
読めます



「沖縄平和賞支援募金」へご協力 お願いします!

平和賞受賞者には、賞状と賞牌しょうはいおよび副賞1000万円が贈られます。副賞は、恒久平和を願い、受賞者の今後の平和貢献活動に期待する、県民はもとより、県外・国外在住の皆さまや企業などからの善意の寄付による「沖縄平和賞支援募金」が主な財源となっています。

沖縄県平和祈念資料館や、サンエー、リウボウストアの一部店頭に設置されている募金箱または、上記「沖縄平和賞支援募金振込先口座」への振り込みにより随時募金を受け付けていますので、引き続き皆様のご協力をお願いします。



10月 1

県立博物館・美術館 令和6年度博物館特別展「芭蕉布展」 開会式

玉城知事は、県立博物館・美術館の「芭蕉布展 ～ 續まれる苧から生まれる思い～」開会式に出席しました。芭蕉布展は、喜如嘉の芭蕉布保存会の重要無形文化財指定50周年を記念して開催され、琉球・沖縄を代表する染織物である芭蕉布の魅力を、歴史・民俗・美術工芸のあらゆる面から紹介する内容となっています。



玉城知事は祝辞で「現代を生きる人びとの『思い』とともに、芭蕉布とその手わざが未来へとつながっていくことを祈念します」とあいさつしました。

10月 18

技能五輪・アビリンピック2024 沖縄県選手団結団式

11月に愛知県で開催の「第62回技能五輪全国大会」および「第44回全国アビリンピック」へ出場する沖縄県選手団の結団式が行われました。

「技能五輪」は次代の青年技能者の育成を図ること、「アビリンピック」は障害のある方々の職業能力の向上や雇用促進を図ることを目的として開催され、技能五輪に7種目20名、アビリンピックに9種目9名が参加しました。

照屋副知事は、大会参加者が沖縄県代表としての自信と誇りを持ち、培ってきた実力をいかに発揮されることに期待を示し、激励の言葉を送りました。



沖縄県選手団の皆さま

10月 12

第60回 沖縄県身体障害者スポーツ大会

沖縄市のコザ運動公園陸上競技場で「第60回沖縄県身体障害者スポーツ大会」を開催しました。



100m競争の様子(障害区分:肢体(車いす))

本大会は、スポーツを通して、障害のある方の自立や健康増進を図るとともに、県民の障害に対する理解を深め、障害のある方の社会参加の促進を目的に開催しています。

60回目を迎えた今大会には、県内各地から約800名が参加しました。参加者は日頃の練習により培われた力と技を發揮して、元気にスポーツを楽しみ、多くの方々が交流を深める大会となりました。

10月 27

「空手の日」記念演武祭を開催



参加した空手家とともに普及型Ⅲを演武する玉城知事

玉城知事は、那覇市の国際通りで行われた「空手の日」記念演武祭に出席しました。開会式で、玉城知事は、「平和の武である空手を通して、世界中の人々が平和を希求する心でつながることを祈念する」とあいさつしました。

10月25日の空手の日を記念したこの演武祭には、県内外から約2,200名の空手家が参加し演武を行いました。沖縄空手の流派の一つである上地流の有段者でもある玉城知事も、普及型Ⅰ・Ⅱ・Ⅲの一斉演武と平和を祈念する正拳50本突きに参加し、世界に向けて「空手発祥の地・沖縄」を広く発信しました。

12 2024 DECEMBER

美ら島 沖縄

vol.591
ちゅらしま おきなわ

- 02 沖縄県はSDGsを推進します! 『沖縄平和賞』を知っていますか?
- 03 県政フラッシュ
- 04 特集: 県職員の給与の状況
- 06 沖縄産業クロニクル [百貨店・スーパーマーケット編]
- 08 地域外交の展開 国際協力・貢献拠点の形成
- 09 県の動き1 年末・年始総合警戒を実施します!
県の動き2 「プロフェッショナル人材戦略拠点」をご活用ください
- 10 てくてく わがまちさんぽ [八重瀬町]
- 11 県の動き3 令和6年度 沖縄県功労者表彰
- 12 情報ひろば
- 14 県の動き4 小児救急の適正利用のお願い
- 15 読者プレゼント・広報課から12月のお知らせ・読者の声

沖縄の人口・世帯の動き
2024年10月1日現在

146万7,065人
総人口 ※前月比121人増加

65万1,375世帯
世帯数 ※前月比673世帯増加

沖縄県庁広報課
公式LINE
@okinawa-government



沖縄県庁広報課
公式X(旧Twitter)
@okinawa_pref



今月の表紙

「国頭村 星空」
撮影:はてるま こう



自然が豊かで光源の少ないやんばるの森の中から夜空を見上げると、降り注いできそうなほどたくさんの星が瞬いています。

本号の電子Book版とバックナンバーはホームページでご覧いただけます。

[美ら島沖縄の設置場所] [美ら島沖縄]



県内コンビニ、モノレール各駅等で無料配布しています。また、公共機関や銀行、病院など多くの方々が利用する施設でもご覧いただけます。新規設置施設も受け付けていますので、関心のある方は広報課までご連絡ください。なお、全世界向けの戸別配布は致しかねます。ご了承ください。



県民総ぐるみで飲酒運転根絶!

「飲酒運転をしない させない 許さない」



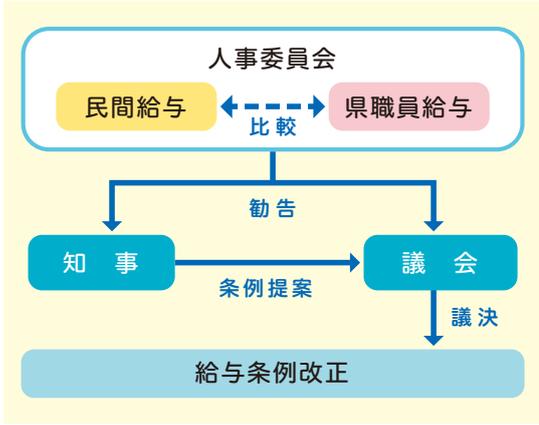
県職員の給与の状況

県では、福祉、教育、商工、土木、農林水産、警察など県民生活に関わる業務を行っており、これらに携わる職員が約2万7400人（公営企業事業の職員を含む。）います。

1 給与決定の仕組み

人事委員会は、毎年、県内の企業規模50人以上で、かつ、事業所規模50人以上の民間事業所の給与実態を調査して、県職員の給与について勧告を行っています。

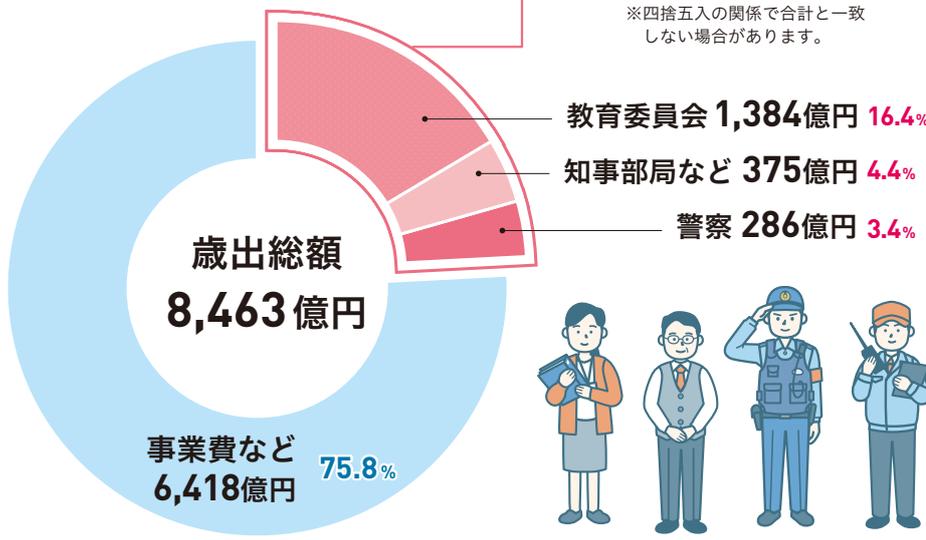
この勧告に基づき、県議会の審議を経て、条例により給与が決定されています。



2 人件費の状況（令和5年度普通会計決算）



※四捨五入の関係で合計と一致しない場合があります。



3 職員数の状況（部門別職員数の状況）

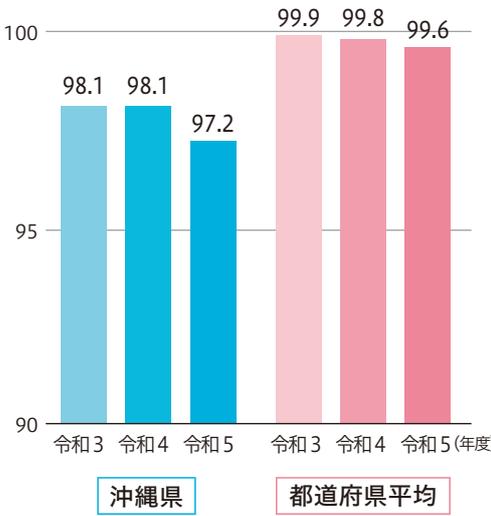
（各年度4月1日現在）

部門		令和4年度	令和5年度	対前年増減
普通会計	一般行政部門	4,037人	4,125人	88人
	教育関係	16,549人	16,674人	125人
	警察関係	3,208人	3,228人	20人
	小計	23,794人	24,027人	233人
公営企業会計	病院事業	2,985人	3,064人	79人
	水道事業	228人	228人	0人
	下水道事業ほか	99人	104人	5人
	小計	3,312人	3,396人	84人
合計		27,106人	27,423人	317人

※職員数は、一般職に属する職員数で地方公務員の身分を保有する休職者、派遣職員などを含み、臨時または非常勤職員を除いています。

4 ラスパイレス指数の状況

ラスパイレス指数とは、国家公務員の給与水準を100とした場合の地方公務員の給与水準を示す指数です。



県民総ぐるみで**飲酒運転根絶!**
 「飲酒運転をしない させない 許さない」



① 期末・勤勉手当の状況

区分	支給内容	国の制度
期末手当	2.45月分	2.45月分
勤勉手当	2.05月分	2.05月分
計	4.50月分	4.50月分
令和5年度平均支給額	1,553,781円	-

② 退職手当の状況

区分	自己都合	応募認定・定年	国の制度	
支給率	勤続25年	28.03950月分	33.27075月分	同
	勤続35年	39.75750月分	47.70900月分	
	最高限度支給率	47.70900月分	47.70900月分	
令和5年度平均支給額	6,985,717円	22,080,051円	-	

③ 主要3手当の状況(扶養手当、住居手当、通勤手当)

内容	手当額(月額)	国の制度	
扶養手当 扶養親族(配偶者、22歳に達する日以後の最初の3月31日までの間にある子、60歳以上の父母など)のいる職員に支給	配偶者	6,500円	同
	子 (15~22歳の子1人につき5,000円加算)	10,000円	
	父母など	6,500円	
住居手当 住居を借り受けている職員に支給	28,000円まで	同	
通勤手当 通勤距離が2km以上で、バスなどを利用している職員に支給	バスなど オキカ利用などの価額(ポイント還元分控除) 自家用車など 距離に応じ 2,300~40,000円	異	

7 職員の手当の状況

(令和6年4月1日現在)

区分	沖縄県	国
一般行政職	大学卒	196,200円
	高校卒	166,600円
現業職(運転士、用務員など)	高校卒	164,000円
	中学卒	155,300円
高等学校教育職	大学卒	219,700円
	短大卒	194,800円
小・中学校教育職	大学卒	219,700円
	短大卒	197,600円
警察職	大学卒	224,600円
	高校卒	191,800円

※採用前の経験年数により、加算される場合があります。

5 職員の初任給の状況

(令和6年4月1日現在)

6 職員の平均給与月額および平均年齢の状況

(令和6年4月1日現在)



※平均給与月額は、令和6年4月分の給料と諸手当(扶養手当、時間外勤務手当など)の合計を平均したものです。

8 特別職の給与などの状況

(令和6年4月1日現在)

知事などの特別職の給料や、県議会議員の報酬などは、県内各界の代表者らで構成する「沖縄県特別職員報酬等審議会」の答申などを踏まえ、条例で定められています。

	給料月額および議員報酬	期末手当の支給割合		計	
		6月期	12月期		
知事	1,230,000円	6月期	1.625月分	3.250月分	
副知事	970,000円	12月期	1.625月分		
議長	980,000円	6月期	1.575月分	3.150月分	
副議長	840,000円		12月期		1.575月分
議員	750,000円				

県ホームページの「沖縄県職員の給与状況」のページでもご覧になれます



問い合わせ 人事課 電話：098-866-2090 FAX：098-866-2033

第8回 百貨店・スーパーマーケット 編



産業の歴史をひもとく年代記 沖縄産業 クロニクル

県民の暮らしに密接に関わる
さまざまな産業はどう始まった？
その変遷と展望を紹介します。
監修・山内昌斗(専修大学経営学部教授)



多様な消費文化が融合する 小売業

かつて、沖縄の人々は食料品や日用品を露店商や行商人から購入していました。店の人と客が話し合っって価格や数量を決める相対(あいたい)売りにより、取引が行われました。明治になると、沖縄の商業に変化が起きます。その担い手となったのが、県外出身の実業家である寄留商人。寄留商人たちは常設の店を構え、商品に値札を付けて販売しました。商店が立ち並び那覇の東町は、商業の中心地として栄えました。

沖縄経済に成長が見られるようになると、1930年に

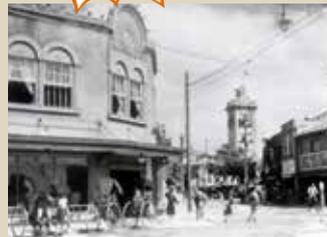


鹿兒島に拠点を置く企業が、沖縄初の百貨店を開業しました。飾りが施された青磁の屋根瓦と、茶褐色でモダンな外壁の建物。コーヒーやランチなどの洋風メニューと、制服をまとい流暢な標準語で接客する食堂。文化的香りが漂う数々の商品。都会的な百貨店は人々の憧れの場となりました。戦後、商業の中心地は国際通りへと移ります。その地で地元資本の百貨店も開業し、国際通りは情報・文化の発信地としてにぎわいをみせました。



戦前、那覇の東町にあった山形屋。販売員は標準服を着用していた(那覇市歴史博物館提供)

初の百貨店
誕生!



本土復帰の頃には低価格、セルフサービスを特徴とするスーパーマーケットが急成長。県産品や輸入品、地元のお惣菜などを取り揃え、地域密着型の経営を展開しました。

その後、百貨店やスーパーマーケットは、コンビニエンスストアやショッピングモール事業なども手掛けるようになり、変化が激しい時代になりながら、人々の暮らしに彩りを与え、日常生活を守る努力がなされています。



クリスマスと
新年の装飾が華やか

1964年12月、那覇の大越百貨店 歳末風景(沖縄県公文書館所蔵)



たくさんの
買い物客で
にぎわう店内

戦後の日リウボウ店内(那覇市歴史博物館提供)



話題となった
大型ショッピングモール

2015年にイオンモール沖縄ライカム、2019年にサンエー浦添西海岸パルコシティと、大型ショッピングセンターが開業(イオンモール沖縄ライカム、サンエー浦添西海岸パルコシティ提供)

1970年代は
スーパーが続々誕生



1979年にオープンしたファミリープラザ丸大(南風原店)(株)丸大提供



県民総ぐるみで飲酒運転根絶!
「飲酒運転をしない させない 許さない」



沖繩百貨店・スーパーマーケット年表

昭和

1930年 沖繩初の百貨店・山形屋
(後の沖繩山形屋)開店

1954年 百貨店リウボウ開店

1954年 プラザハウスショッピングセンター開業

1957年 大越百貨店(後の沖繩三越)開業

1970年 (株)サンエー開業

1975年 神戸に拠点を置く(株)ダイエーが
那覇ショッピングプラザ(後のダイエー
那覇店)開店

1975年 千葉に拠点を置く(株)プリマートが
プリマート沖繩設立

1979年 (株)大城商店がファミリープラザ丸大
を展開

1983年 (株)リウボウ総合開発がリウボウストア
を展開

1983年 金秀商事(株)がタウンプラザかねひで
を展開

1984年 (株)野高商会在がフレッシュユプラザ
ユニオンを展開

1993年 沖繩ジャスコ(株)(現イオン琉球)が
ジャスコ那覇店(現イオン那覇店)を開業

1999年 沖繩山形屋が閉店

2014年 (株)沖繩三越が閉店

2015年 イオンモール沖繩ライカムが開業

令和

2019年 サンエー浦添西海岸パルクシティが開業

2019年 セブンイレブンが沖繩に出店

2019年

2019年

2019年

2019年

2019年

令和

注目トピックス



3

日本本土の食文化を伝えた ダイナハ

1975年、神戸に拠点を置くダイエーが那覇市内に出店しました。店はダイナハと呼ばれ、親しまれました。売り場には本土の最新ファッションアイテムのほかに、サンマや納豆、ヨーグルトなど、県民に馴染みがなかった食材が並べられ、県民の生活に変化を与えました。



2

((株)プラザハウス提供)

日本初のショッピングセンター プラザハウス

1954年7月4日のアメリカ独立記念日に、米軍人・軍属を対象としたショッピングセンター・プラザハウスがコザ市(現・沖繩市)に誕生。プラザハウスは日本初のショッピングセンターともいわれています。南国に誕生した異国情緒が漂う店は、アメリカ消費文化の発信地となりました。



1

現在も残る相対売りの景色 のうれんプラザ

店の人と客が話し合って価格や数量を決める取引のことを相対売りといいます。現在でも、その様子を那覇市樋川にある「のうれんプラザ」でみることができます。季節にもよりますが、日曜日を除く早朝6時頃に建物内の相対売場を訪れると、にぎやかで懐かしい場面に出会うことができます。

グローバル化時代のローカリゼーション

県外・海外から小売業の出店が相次ぐ中、県内企業に見られるのが徹底したローカル化。熱々の豆腐や箱入りツナ缶などの商品を取り揃えるほか、地元企業とコラボ商品を開発するなどの工夫がなされています。グローバル化時代には消費の均一化が進む一方、地方の個性が引き立つ特性があります。多様な消費文化を経験した沖繩は個性にあふれており、消費者との対話から生まれた経営が企業の成長・発展の鍵を握るかもしれません。



地域外交の展開



国際協力・貢献拠点の形成



県では、地域外交の目指す姿として、「世界の島しょ地域等とともに持続可能な発展を図る国際協力・貢献拠点」を掲げています。

沖縄が島しょ地域として培ってきた知見・技術、海外の県系人を含めた多様で持続可能な人的関係などを生かして、JICA等関係機関と連携を図りながら、多様な分野において、国際協力活動を国内外で展開し、国際的課題の解決に貢献する地域の形成を目指します。

パラオ共和国との連携

5月、パラオ共和国のビクトル農業水産環境大臣ほか7名が照屋副知事を表敬し、沖縄県とのMOUに関する意見交換を行い、水産分野のワーキングチームの活動状況と、新たな分野における連携の可能性について話し合いました。

6月、日本・パラオ外交関係樹立30周年記念として「第1回パラオ国際アマチュア野球大会」がパラオで開催され、沖縄県からは社会人・大学生で構成する野球団を結成し、



ビクトル大臣の表敬



パラオ野球大会

参加しました。併せて、JICAパラオ事務所と共同で、現地の少年少女に対して野球教室を実施したほか、日本とパラオのつながりや県系人とのルーツについて意見交換を行うなど、地域間交流を促進し、沖縄とパラオの友好関係のさらなる強化に取り組みました。

太平洋島しょ国とのネットワーク会議 (PALM & G)

7月、太平洋島しょ国と日本の地方自治体とのネットワークの構築および関係強化を図り、地域の特色を活かした幅広い分野での国際交流を推進することを目的としたPALM&G会議が東京都で開催され、県も参加しました。

会議では、太平洋島しょ国と日本の地方自治体の人的交流や人材育成について、保健医療、スポーツ、青少年交流の3分野を中心に取り組んでいくことを合意しました。



PALM & G会議

太平洋島しょ国駐日大使等の照屋副知事表敬

11月、太平洋島しょ国の駐日大使等が、7月に開催された「太平洋島しょ国・PALM & G会議」地方自治体ネットワーク会議のお礼と、交流のさらなる推進を図るため来県し、照屋副知事を表敬しました。

照屋副知事は、太平洋島しょ国への感謝の意を述べるとともに、県の地域外交の一環として、今後も島しょ国との友好関係構築と交流促進に向けた取り組みを推進していく考えを示しました。



太平洋島しょ国の駐日大使等の表敬

問い合わせ

平和・地域外交推進課 電話：098-894-2226 FAX：098-869-7018

広告



県民総ぐるみで飲酒運転根絶！
「飲酒運転をしない させない 許さない」

